

特集

MOVE

ちょっとこれまでとは違うこの夏、
あなたはどう動く？

2022年7月 Vol. 79



なのビィ

発行：田原市中央図書館
(TEL: 0531-23-4946)

地球は生きているからMOVEです

「教養としての「日本列島の地形と地質」」

橋本純／著 PHP研究所 2022年 454.91/ル 一般



私たちの住む日本は毎年のように豪雨・台風等による水害や地震などの自然災害に見舞われます。この本では「地形・地質」の視点から、なぜ日本列島は自然災害が多いのかや、日本列島ができるまでの歴史などをわかりやすく説明しています。地形・地質でふるさとを知る第2章では、渥美半島にある初立ダムの地質と農業王国渥美半島の発展について取り上げられていますよ。

海外留学、してみませんか？

「あたらしい高校生」

山本つぼみ／著 IBCパブリッシング 2020年 376.8/ナ ティーズ



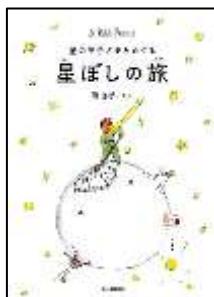
ごく普通の日本の高校生だった著者山本つぼみさんが、米国のトップ大学に合格して、入学するまでの体験談です。留学するにはどんな勉強をして、どんな準備が必要なのか？具体的な情報が満載です。

留学に挑戦する！と決めた日から、忍耐強く努力を重ねて、どんどん自分を成長させていく姿に感動と勇気をもらえます。機会があれば、ぜひみなさんも海外に飛び出して、広い広い世界を見てきてほしいな。

宇宙に思いを馳せる

「星の王子さまとめぐる星ぼしの旅」

鷺秀彦／さく 河出書房新社 2014年 443/ア ティーズ



旅・旅行というと「物理的に移動可能な範囲」に限定されがちな気がします。ここは思いきって地球の外へイメージを広げてみましょう。宇宙人はいるのか、地球のように暮らせる星は他にもあるのか、宇宙の果てはどうなっているのか…。考え始めるとワクワクしてきますね。星の写真を見ながら、星の王子様と一緒に宇宙を旅している気分になれる本です。

火星への移住、いつか実現するかも？

「オリンポスの郵便ポスト」

藻野多摩夫／著 KADOKAWA 2017年 913.6/t/ ライ-ズ



地球からの移住を始めて二百年後の火星、天災や争いによって寸断された都市をつなぐ唯一の手段は手紙のみ。郵便配達員として働くエリスは、身体を機械に作り替えた改造人類クロに出会う。クロは「自分の死に場所を探す」ため、火星でもっとも天国に近い場所と呼ばれる伝説の地オリンポスへの案内をエリスに依頼する。エリスとクロの行く先にある未来とは？ふたりのテンポ良い掛け合いにほのぼのします。

勇気を出して、自分が好きな自分になる！

「マーヤの自分改造計画 1950年代のマニュアルで人気者になれる？」

マーヤ・ヴァン・ワーグネン／著 紀伊國屋書店 2017年 936/l/ ライ-ズ



自分に自信がなくて友達も学校も苦手なアメリカの中学生マーヤが60年以上前に出版された本を読みます。本の作者であるベティ・コーネルからのミッションを一つずつクリアし、1年かけて自分を変えることに成功したノンフィクションです。日本とは違う日常の生活文化も描かれ、時代が違ってもティーンズ世代に悩むことは同じなんですね。気になったミッションは実践してみてもいいかも！

絶対楽しいアクティビティ！

「感動の体験旅行 もうすぐ世界が待っている！」

湊麻里／訳 日経ナショナルジオグラフィック社 2022年 290.93/l 一般



旅行に行った先で観光するだけじゃなく、実際に体験してみよう！という、全部で100の提案が載っている本書。スウェーデンで犬ぞりに乗ってみる？オーストラリアで鯨の調査をしてみる？写真もたくさん載っているので、見るだけでもちょっと行った気になれます。私はウェールズのハイ・フェスティバルに行ってみたいな。30年以上続いている文学のお祭りで、本がたくさん読めそう！

中央図書館では、その他のオススメ本も展示しているので見にきてね☆

☆新着図書・この本読んで！☆

それでも生きていくのだ

「大人も気づいていない48の大切なこと」

Testosterone/著 学研プラス 2021年 159/テ ティーンズ



Twitterで素敵な投稿をしているTestosterone(テストステロン)さんを知っていますか？心が軽くなる、前向きになれる言葉たちに私も力をもらっています。自分や友達のこと、勉強や将来のこと、不安な気持ちになる時もたくさんありますよね。好きなところから読んで、ビビッときたものを心に留めて、楽しく過ごしてください。私も著者のように筋トレしようかな…。

身につけたい！ファシリテーション！

「13歳からのファシリテーション」

ちよんせいこ/著 メイツユニバーサルコンテンツ 2022年 809.6/テ ティーンズ



「ファシリテーション」とはグループワークや話し合いの場を円滑に進行させ、参加者一人一人のもつている強みを最大限に引き出して、問題を解決へと導く技です。こう書くと、一部のリーダーだけに必要な力だと思うかもしれません、そんなことはありません。誰もが練習したら身につくファシリテーション。友達付き合いや社会人になっても役立ちますので、ぜひ一読を♪

登場人物の名字が全部何かに関係しています。さて、「何か」とは何でしょう？

「マスクと黒板」

濱野京子/作 講談社 2022年 913/ル ティーンズ



この物語ではみんなマスクをしていて、中学校は突然休校してしまい3年生は修学旅行に行けない。そう、私たちの住むこの世界と同じ。でも2年生の立花輝はコミュニケーション控えめ必須なこの状況が嬉しい、内気な美術部男子だ。

ある日昇降口に「黒板アート」が置かれ、学校中の話題になる。誰が描いたのか？先生？美術部員？輝はいつしか、「黒板アート」の犯人を推測しはじめる。

予告：次号の特集は「Art is wonderful」です。お楽しみに♪